



平成 27 年国勢調査

(従業地・通学地による人口・就業状態等集計結果)

～静岡県の概要～

平成 29 年 8 月

静岡県経営管理部情報統計局

統計調査課

目 次

1	従業地・通学地別人口	1
2	男女・年齢・従業地別就業者	3
3	昼夜間人口比率	4
4	市町間の就業者・通学者数	5
5	統計表	6

従業地・通学地による人口・就業状態等集計とは

従業地・通学地による人口・就業状態等集計は、全ての調査票を用いて、従業地・通学地による人口の構成、常住地の市区町村と従業地・通学地の市区町村との関係等を集計した結果である。この結果によって、昼間人口、昼夜間人口比率などを把握することができる。

詳細な結果は、下記 URL の「統計表一覧」をご覧ください。

URL <http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/index.htm>

結果の要点

- 従業地・通学地別人口
 - ・ 「自市区町村」で従業又は通学する者の割合は 41.9%で全国(36.8%) より高い
 - ・ 「自市区町村」で従業又は通学する者の割合は県内では富士市が 49.4%で最も高い
- 男女・年齢・従業地別就業者
 - ・ 男性 20～59 歳、女性 20～29 歳の 4 割以上が「他市区町村」で従業
- 昼夜間人口比率
 - ・ 静岡県の昼夜間人口比率は 99.8 で全国では 26 位
 - ・ 県内では湖西市が 111.5 で最も高く、函南町が 80.2 で最も低い
- 市町間の就業者・通学者
 - ・ 県内の他市町から通勤・通学している者は静岡市が 4 万 7,802 人で最も多い

用語の解説

従業地・通学地

「従業地・通学地」とは、就業者が従業している又は通学者が通学している場所をいい、次のとおり区分している。

区 分		内 容
自市区町村		従業・通学先が常住している市区町村と同一の市区町村にある場合
	自 宅	従業している場所が、自分の居住する家又は家に附属した店・作業場などである場合
	自宅外	常住地と同じ市区町村に従業・通学先がある人で上記の「自宅」以外の場合
他市区町村		従業・通学先が常住している市区町村以外にある場合 (いわゆるその市区町村からの流出人口を示すものとなっている。)
県 内	自市内他区	常住地が 21 大都市 ^(注1) にある人で、同じ市又は東京都特別区内の他の区に従業地・通学地がある場合 例) 常住地が静岡市葵区にある人で静岡市駿河区に従業地・通学地がある場合
	県内他市区町村	従業・通学先が常住地と同じ都道府県内の他の市区町村にある場合 例) 常住地が静岡市葵区にある人で浜松市中央区に従業地・通学地がある場合
他 県		従業・通学先が常住地と異なる都道府県にある場合

注1) 東京都特別区部及び政令指定都市(静岡県は、静岡市及び浜松市)をいう。

夜間人口と昼間人口

夜間人口(常住地による人口)

調査時に調査の地域に常住している人口である。

昼間人口(従業地・通学地による人口)

従業地・通学地集計の結果を用いて、次により算出された人口である。

[例: A市の昼間人口の算出方法]

$$A \text{市の昼間人口} = A \text{市の夜間人口} - A \text{市からの流出人口}^{(注2)} + A \text{市への流入人口}^{(注3)}$$

注2) A市からA市以外への通勤・通学者数

注3) A市以外からA市への通勤・通学者数

昼夜間人口比率

次の式により算出され、100を上回っているときは昼間人口が夜間人口を上回ることを示し、100を下回っているときは、昼間人口が夜間人口を下回っていることを示している。

[例: A市の昼夜間人口比率の算出方法]

$$A \text{市の昼夜間人口比率} = (A \text{市の昼間人口} / A \text{市の夜間人口}) \times 100$$

その他の用語

その他の用語については、『平成27年国勢調査 調査結果の利用案内— ユーザーズガイド —』を参照。

URL <http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/users-g.htm>

数値の見方

- ・ 本文及び図表中の数値は、表章単位未満で四捨五入している。
- ・ 割合は、過去も含め分母から不詳を除いて算出している。

1 従業地・通学地別人口

「自市区町村」で従業又は通学をする者の割合は全国より高い

総人口（370万305人）に占める従業地・通学地別の割合をみると、「自市区町村」が41.9%（全国36.8%）、「他市区町村」が21.0%（同24.7%）となっている。平成22年と比べると、「自市区町村」が1.4ポイントの低下、「他市区町村」が0.8ポイントの上昇となっている。一方、「従業も通学もしていない」は37.1%（同38.5%）で平成22年と比べると0.6ポイントの上昇となっている。

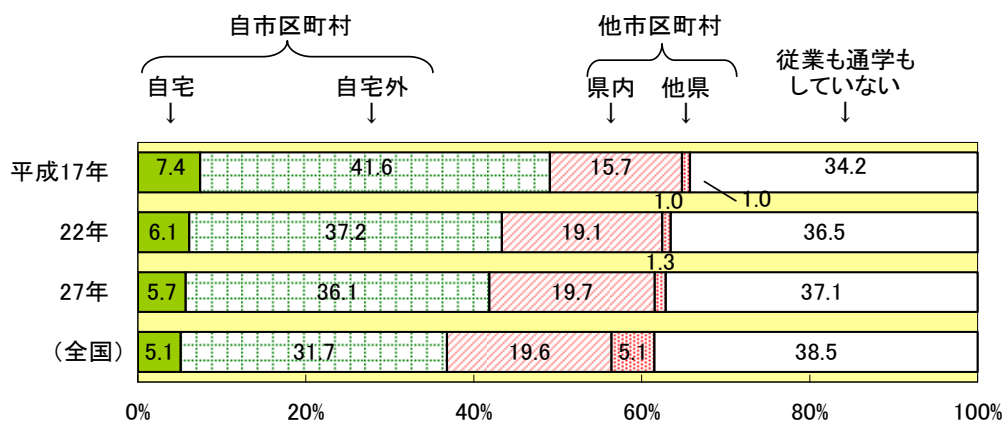
また、静岡県の数値を全国と比べると「自市区町村」が5.1ポイント高く、「他市区町村」が3.7ポイント低くなっている。「従業も通学もしていない」も1.4ポイント低くなっている。

表1 従業地・通学地別人口及び15歳以上就業者数

従業地・通学地	実数(人)			割合(%)			
	17年 *1	22年	27年	17年	22年	27年	27年 (全国)
常住人口(夜間人口)	3,787,327	3,765,007	3,700,305	100.0	100.0	100.0	100.0
従業も通学もしていない	1,284,565	1,341,788	1,323,739	34.2	36.5	37.1	38.5
自市区町村	1,838,089	1,592,462	1,494,056	49.0	43.3	41.9	36.8
自宅	277,990	225,135	204,503	7.4	6.1	5.7	5.1
自宅外	1,560,099	1,367,327	1,289,553	41.6	37.2	36.1	31.7
他市区町村 *2	629,581	740,626	750,042	16.8	20.2	21.0	24.7
自市内他区	89,314	207,780	224,689	2.4	5.8	6.3	5.4
県内他市区町村	501,444	472,182	476,306	13.4	13.3	13.4	14.1
他県	38,823	37,153	45,553	1.0	1.0	1.3	5.1
従業・通学市区町村「不詳」 *4	-	23,511	3,494	-	-	-	-
不詳	35,092	90,131	132,468	-	-	-	-
(再掲)15歳以上自宅外就業者・通学者	1,890,362	1,813,657	1,781,410	50.4	49.4	49.9	49.5
15歳以上就業者 *3	1,990,647	1,897,194	1,865,154	100.0	100.0	100.0	100.0
自市区町村	1,436,834	1,220,809	1,156,875	72.2	65.1	63.5	56.0
自宅	277,990	225,135	204,503	14.0	12.0	11.2	10.4
自宅外	1,158,844	995,674	952,372	58.2	53.1	52.3	45.6
他市区町村 *2	553,813	654,462	663,609	27.8	34.9	36.5	44.0
自市内他区	78,666	184,709	199,307	4.0	10.2	11.0	9.8
県内他市区町村	445,426	421,470	427,037	22.4	23.2	23.6	25.2
他県	29,721	28,396	34,136	1.5	1.6	1.9	9.0
従業・通学市区町村「不詳」 *4	-	19,887	3,129	-	-	-	-
不詳 *5	-	21,923	44,670	-	-	-	-

- *1 年齢不詳を除く
- *2 実数は従業・通学先市区町村「不詳」を含む。
- *3 実数は従業地「不詳」を含む
- *4, *5 平成17年国勢調査では集計されていない。

図1 従業地・通学地別人口の割合



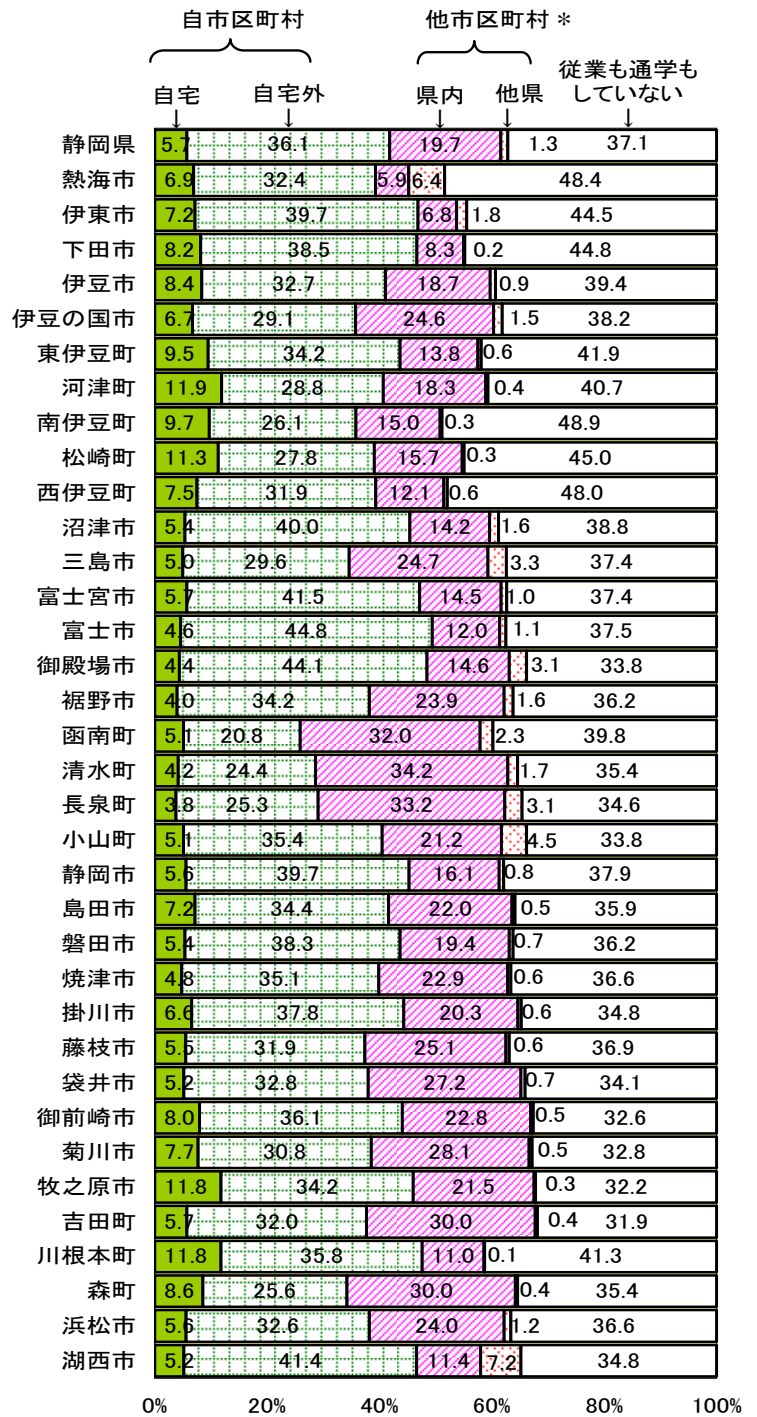
「自市区町村」で従業又は通学をする者の割合は富士市が49.4%で最も高い

市区町別に従業地・通学地別の割合をみると、「自宅」は河津町が11.9%と最も高く、次いで、牧之原市及び川根本町が11.8%となっている。「自宅外」は富士市が44.8%と最も高く、次いで、御殿場市が44.1%、富士宮市が41.5%となっている。「自宅」と「自宅外」を合わせた「自市区町村」は富士市が49.4%と最も高くなっている。

また、「県内」は清水町が34.2%と最も高く、次いで、長泉町が33.2%、函南町が32.0%となっている。「他県」は湖西市が7.2%と最も高く、次いで、熱海市が6.4%、小山町が4.5%となっている。「県内」と「他県」を合わせた「他市区町村」は長泉町が36.3%と最も高く、次いで清水町が36.0%、函南町が34.3%となっており、この3町は「自市区町村」より「他市区町村」の割合が高くなっている。

一方、「従業も通学もしていない」は南伊豆町が48.9%と最も高く、次いで、熱海市が48.4%、西伊豆町が48.0%となっている。

図2 市町別従業地・通学地別人口の割合 (平成27年)



* 「他市区町村」には政令都市内で、常住している区とは別の区に通勤・通学している人数を含む。

2 男女・年齢・従業地別就業者

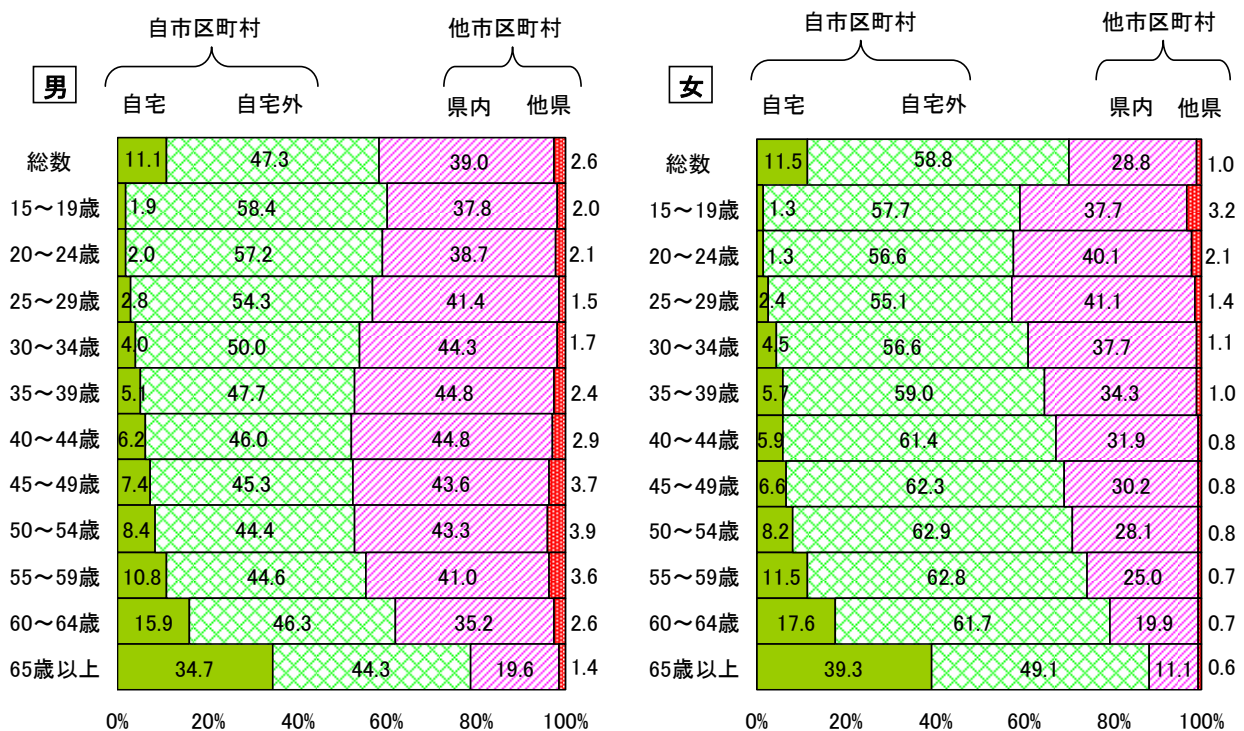
男性 20～59 歳、女性 20～29 歳の 4 割以上が「他市区町村」で従業

15 歳以上就業者（186 万 5,154 人）に占める従業地別の割合をみると、「自市区町村」が 63.5%（115 万 6,875 人）、「他市区町村」が 36.5%（66 万 3,609 人）となっている。（参考：P 1『表 1』）

男女別にみると、男性は「自市区町村」が 58.4%、「他市区町村」が 41.6%、女性は「自市区町村」が 70.2%、「他市区町村」が 29.8%となっており、男性は約 6 割、女性は約 7 割の者が「自市区町村」で従業している。

男女・年齢 5 歳階級別 15 歳以上就業者に占める従業地別の割合をみると、「自市区町村」は男女共に 65 歳以上が最も高く、男性は 79.0%、女性は 88.3%となっている。一方、「他市区町村」は、男性では 20～59 歳までの各年齢階級で 4 割を超え、年齢による変化が少ないのに対し、女性では 25～29 歳が最も高く、年齢が上がるにつれて低下している。（参考：P 7『別表 2』）

図 3 男女・年齢 5 歳階級・従業地別 15 歳以上就業者の割合（平成 27 年）



3 昼夜間人口比率

静岡県の昼夜間人口比率は 99.8、全国で 26 位

静岡県の夜間人口（370 万 305 人）に対して、昼間人口は 369 万 2,336 人となっている。昼夜間人口比率（夜間人口 100 人当たりの昼間人口）は 99.8（全国 26 位）となっており、平成 22 年から 0.1 ポイント減少している。

15 歳以上の通勤者及び通学者における、静岡県から他県への流出人口 45,428 人の内訳を見ると、愛知県が 13,617 人、東京都が 12,439 人、神奈川県が 12,071 人となっている。

一方、他県から静岡県への流入人口 37,414 人の内訳を見ると、愛知県が 15,161 人、神奈川県が 10,527 人、東京都が 2,696 人となっている。

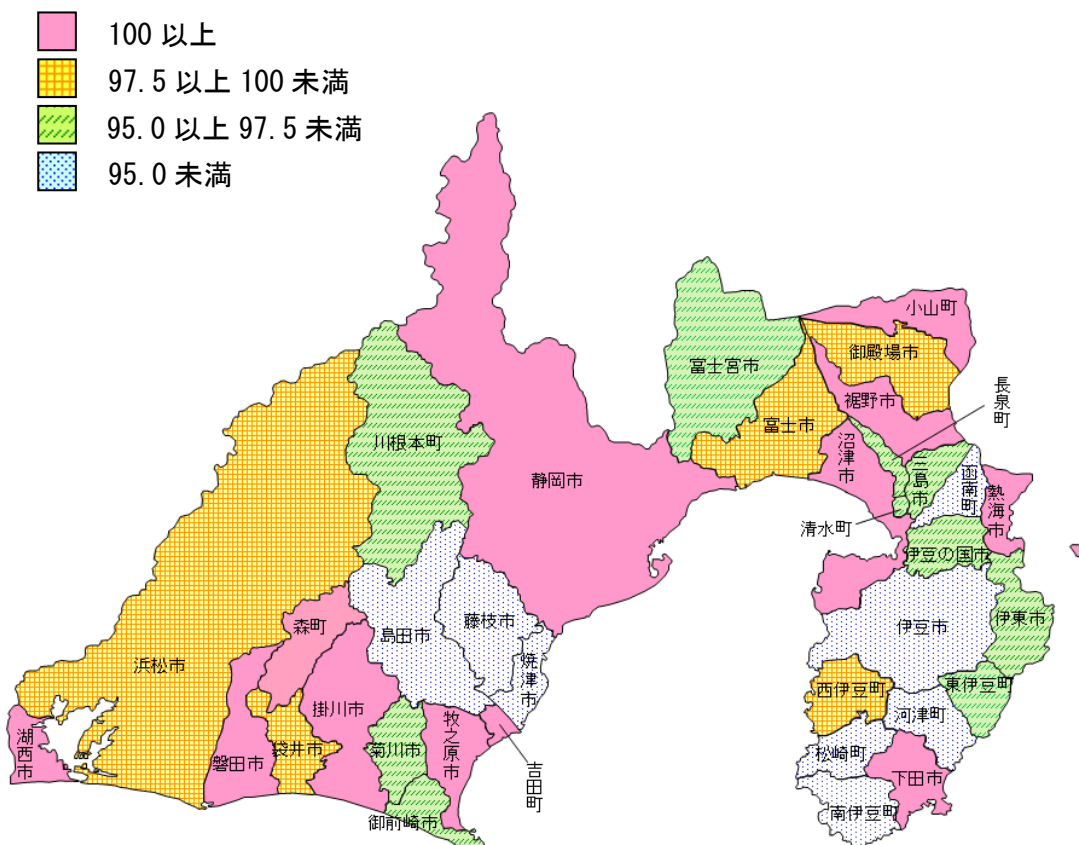
（参考：P 8 『別表 3』）

市町別昼夜間人口比率は湖西市が 111.5 で最も高い

昼夜間人口比率を市町別にみると、湖西市が 111.5 と最も高く、次いで、牧之原市が 110.5、沼津市が 107.0 となっている。一方、函南町が 80.2 と最も低く、次いで、藤枝市が 91.6、島田市が 93.2 となっている。

（参考：P 6 『別表 1』）

図 4 市町別昼夜間人口比率（平成 27 年）



4 市町間の就業者・通学者

県内他市町から通勤・通学している者は静岡市が4万7,802人で最も多い

15歳以上就業者・通学者を静岡県内の市町間の関係で見ると、他市町からの就業者・通学者は静岡市が4万7,802人と最も多く、次いで、沼津市が4万595人、浜松市が3万7,177人となっている。

一方、他市町への就業者・通学者は浜松市が4万719人と最も多く、次いで、藤枝市が3万4,807人、磐田市が3万808人となっている。

(参考：P11『別表5』)

主な市の状況を見ると、

静岡市への就業者・通学者は、藤枝市からが1万1,414人と最も多い。

浜松市への就業者・通学者は、磐田市からが1万7,613人と最も多い。

沼津市への就業者・通学者は、三島市からが8,055人と最も多い。

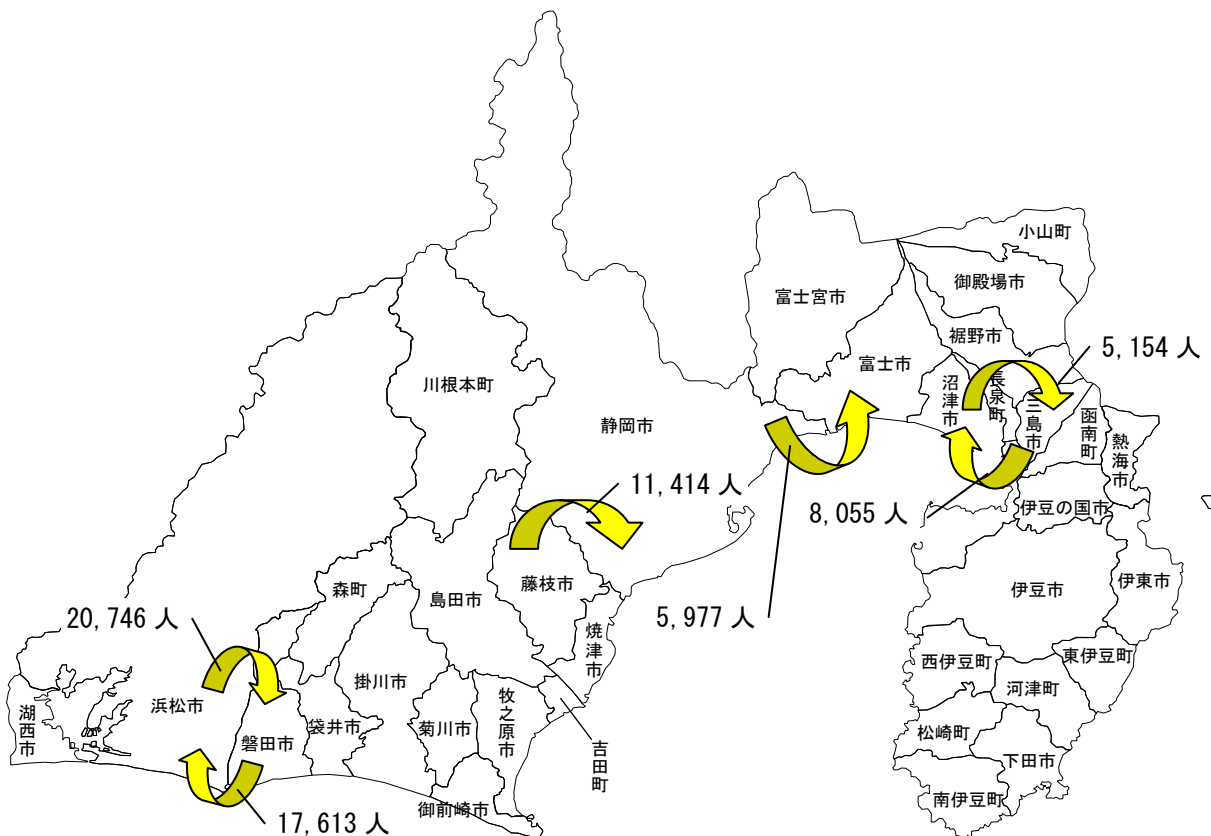
静岡市からは富士市への就業者・通学者が5,977人と最も多い。

浜松市からは磐田市への就業者・通学者が2万746人と最も多い。

沼津市からは三島市への就業者・通学者が5,154人と最も多い。

(参考：P9『別表4』)

図5 主な市町間の就業者・通学者数（平成27年）



別表2 男女・年齢5歳階級・従業地別15歳以上就業者数(平成27年)

(単位:人)

静岡県	総数	自市区町村			他市区町村				不詳
			自宅	自宅外	県内	他県	従業市区町村「不詳」		
総数	1,865,154	1,156,875	204,503	952,372	663,609	626,344	34,136	3,129	44,670
15～19歳	22,452	13,223	360	12,863	8,929	8,324	566	39	300
20～24歳	102,938	58,187	1,648	56,539	41,155	38,866	2,059	230	3,596
25～29歳	145,762	80,206	3,666	76,540	59,797	57,483	2,027	287	5,759
30～34歳	162,456	89,225	6,572	82,653	67,542	64,893	2,341	308	5,689
35～39歳	189,523	106,298	9,837	96,461	77,626	74,093	3,245	288	5,599
40～44歳	232,986	133,709	13,762	119,947	93,561	88,599	4,562	400	5,716
45～49歳	211,302	124,081	14,601	109,480	82,642	77,359	4,908	375	4,579
50～54歳	195,111	117,178	15,925	101,253	74,607	69,544	4,760	303	3,326
55～59歳	182,572	114,703	19,997	94,706	65,084	60,683	4,160	241	2,785
60～64歳	168,019	115,095	27,589	87,506	50,441	47,272	2,920	249	2,483
65歳以上	252,033	204,970	90,546	114,424	42,225	39,228	2,588	409	4,838
男	1,053,967	598,474	113,413	485,061	427,077	398,375	26,598	2,104	28,416
15～19歳	12,027	7,146	224	6,922	4,714	4,461	234	19	167
20～24歳	53,676	30,531	1,045	29,486	21,022	19,805	1,074	143	2,123
25～29歳	82,501	45,047	2,199	42,848	33,818	32,444	1,194	180	3,636
30～34歳	95,760	49,678	3,661	46,017	42,403	40,594	1,603	206	3,679
35～39歳	110,465	56,372	5,442	50,930	50,390	47,670	2,508	212	3,703
40～44歳	131,166	66,576	7,896	58,680	60,877	56,875	3,726	276	3,713
45～49歳	116,486	59,810	8,427	51,383	53,703	49,302	4,157	244	2,973
50～54歳	106,989	55,339	8,791	46,548	49,479	45,181	4,081	217	2,171
55～59歳	101,963	55,514	10,815	44,699	44,641	40,864	3,611	166	1,808
60～64歳	96,703	59,224	15,164	44,060	35,904	33,316	2,431	157	1,575
65歳以上	146,231	113,237	49,749	63,488	30,126	27,863	1,979	284	2,868
女	811,187	558,401	91,090	467,311	236,532	227,969	7,538	1,025	16,254
15～19歳	10,425	6,077	136	5,941	4,215	3,863	332	20	133
20～24歳	49,262	27,656	603	27,053	20,133	19,061	985	87	1,473
25～29歳	63,261	35,159	1,467	33,692	25,979	25,039	833	107	2,123
30～34歳	66,696	39,547	2,911	36,636	25,139	24,299	738	102	2,010
35～39歳	79,058	49,926	4,395	45,531	27,236	26,423	737	76	1,896
40～44歳	101,820	67,133	5,866	61,267	32,684	31,724	836	124	2,003
45～49歳	94,816	64,271	6,174	58,097	28,939	28,057	751	131	1,606
50～54歳	88,122	61,839	7,134	54,705	25,128	24,363	679	86	1,155
55～59歳	80,609	59,189	9,182	50,007	20,443	19,819	549	75	977
60～64歳	71,316	55,871	12,425	43,446	14,537	13,956	489	92	908
65歳以上	105,802	91,733	40,797	50,936	12,099	11,365	609	125	1,970

別表3 都道府県別昼間人口、夜間人口及び昼夜間人口比率(平成27年)

(単位:人)

	常住地 による人口 総数 (夜間人口) *1	従業地・ 通学地 による人口 総数 (昼間人口) *1 *2	昼夜間 人口比率 (順位)	静岡県からの 流出口 (15歳以上自 宅外就業者・ 通学者) *3	静岡県への 流入人口 (15歳以上自 宅外就業者・ 通学者)
全国	127,094,745	127,094,745	100.0 (-)	45,428	37,414
北海道	5,381,733	5,378,786	99.9 (17)	158	128
青森県	1,308,265	1,306,283	99.8 (24)	27	62
岩手県	1,279,594	1,276,705	99.8 (28)	68	83
宮城県	2,333,899	2,339,786	100.3 (5)	229	278
秋田県	1,023,119	1,020,642	99.8 (31)	26	27
山形県	1,123,891	1,120,365	99.7 (32)	43	30
福島県	1,914,039	1,917,815	100.2 (10)	192	122
茨城県	2,916,976	2,842,851	97.5 (40)	232	258
栃木県	1,974,255	1,955,198	99.0 (37)	167	140
群馬県	1,973,115	1,969,764	99.8 (25)	136	152
埼玉県	7,266,534	6,456,452	88.9 (47)	744	1,014
千葉県	6,222,666	5,582,241	89.7 (46)	682	873
東京都	13,515,271	15,920,405	117.8 (1)	12,439	2,696
神奈川県	9,126,214	8,322,926	91.2 (44)	12,071	10,527
新潟県	2,304,264	2,302,236	99.9 (21)	78	88
富山県	1,066,328	1,063,834	99.8 (30)	75	62
石川県	1,154,008	1,156,536	100.2 (8)	130	75
福井県	786,740	786,736	100.0 (15)	59	54
山梨県	834,930	828,495	99.2 (36)	1,441	2,234
長野県	2,098,804	2,094,051	99.8 (29)	231	224
岐阜県	2,031,903	1,952,630	96.1 (42)	311	533
静岡県	3,700,305	3,692,336	99.8 (26)	-	-
愛知県	7,483,128	7,586,294	101.4 (4)	13,617	15,161
三重県	1,815,865	1,784,775	98.3 (38)	314	358
滋賀県	1,412,916	1,363,716	96.5 (41)	134	145
京都府	2,610,353	2,656,353	101.8 (3)	423	195
大阪府	8,839,469	9,224,306	104.4 (2)	492	560
兵庫県	5,534,800	5,294,074	95.7 (43)	234	343
奈良県	1,364,316	1,228,426	90.0 (45)	56	121
和歌山県	963,579	946,387	98.2 (39)	21	49
鳥取県	573,441	572,678	99.9 (23)	17	20
島根県	694,352	694,770	100.1 (12)	21	17
岡山県	1,921,525	1,921,822	100.0 (13)	62	86
広島県	2,843,990	2,850,087	100.2 (9)	112	65
山口県	1,404,729	1,399,109	99.6 (34)	40	37
徳島県	755,733	752,919	99.6 (33)	20	28
香川県	976,263	978,511	100.2 (7)	19	36
愛媛県	1,385,262	1,385,392	100.0 (14)	27	34
高知県	728,276	727,644	99.9 (20)	18	31
福岡県	5,101,556	5,105,438	100.1 (11)	79	210
佐賀県	832,832	834,871	100.2 (6)	16	18
長崎県	1,377,187	1,374,210	99.8 (27)	23	36
熊本県	1,786,170	1,777,292	99.5 (35)	37	46
大分県	1,166,338	1,165,668	99.9 (18)	23	36
宮崎県	1,104,069	1,103,434	99.9 (19)	21	29
鹿児島県	1,648,177	1,646,386	99.9 (22)	30	51
沖縄県	1,433,566	1,433,110	100.0 (16)	33	42

* 1 労働力状態「不詳」を含む。

* 2 従業地・通学地「不詳」で、当地に常住している者を含む。

* 3 従業地・通学地「不詳」を除く。

別表5 市区町別15歳以上自宅外就業者・通学者の流出・流入人口(平成27年)

(単位:人)

	流出人口 (15歳以上自 宅外就業者・ 通学者) A*1	(順位)	流入人口 (15歳以上自 宅外就業者・ 通学者) B	(順位)	流入超過 B - A	(順位)
伊豆半島計	15,056	-	11,064	-	▲ 3,992	-
熱海市	2,148	(28)	4,138	(26)	1,990	(7)
伊東市	4,326	(26)	2,741	(29)	▲ 1,585	(25)
下田市	1,819	(29)	2,760	(28)	941	(10)
伊豆市	5,662	(24)	4,057	(27)	▲ 1,605	(26)
伊豆の国市	11,322	(18)	9,513	(21)	▲ 1,809	(27)
東伊豆町	1,729	(30)	1,313	(30)	▲ 416	(16)
河津町	1,321	(31)	861	(31)	▲ 460	(19)
南伊豆町	1,259	(32)	720	(33)	▲ 539	(21)
松崎町	1,053	(33)	712	(34)	▲ 341	(15)
西伊豆町	986	(34)	818	(32)	▲ 168	(13)
東部計	25,547	-	26,422	-	875	-
沼津市	26,003	(7)	40,595	(2)	14,592	(2)
三島市	25,858	(8)	23,890	(7)	▲ 1,968	(28)
富士宮市	17,888	(12)	11,804	(16)	▲ 6,084	(31)
富士市	27,890	(5)	27,464	(5)	▲ 426	(17)
御殿場市	12,258	(15)	11,814	(15)	▲ 444	(18)
裾野市	12,088	(16)	14,630	(11)	2,542	(6)
函南町	11,842	(17)	5,185	(24)	▲ 6,657	(33)
清水町	10,353	(19)	9,887	(18)	▲ 466	(20)
長泉町	13,224	(13)	12,402	(14)	▲ 822	(22)
小山町	4,066	(27)	4,674	(25)	608	(11)
中部計	26,699	-	47,802	-	21,103	-
静岡市	26,699	(6)	47,802	(1)	21,103	(1)
葵区	35,285	-	59,267	-	23,982	-
駿河区	39,722	-	41,502	-	1,780	-
清水区	30,935	-	26,276	-	▲ 4,659	-
志太榛原・中東遠計	62,769	-	45,260	-	▲ 17,509	-
島田市	21,028	(11)	14,589	(12)	▲ 6,439	(32)
磐田市	30,808	(3)	36,389	(4)	5,581	(3)
焼津市	30,627	(4)	22,754	(9)	▲ 7,873	(34)
掛川市	22,702	(9)	24,262	(6)	1,560	(8)
藤枝市	34,807	(2)	23,392	(8)	▲ 11,415	(35)
袋井市	22,262	(10)	20,859	(10)	▲ 1,403	(24)
御前崎市	7,051	(22)	6,111	(22)	▲ 940	(23)
菊川市	12,694	(14)	10,418	(17)	▲ 2,276	(29)
牧之原市	9,554	(20)	14,229	(13)	4,675	(4)
吉田町	8,414	(21)	9,549	(20)	1,135	(9)
川根本町	786	(35)	521	(35)	▲ 265	(14)
森町	5,426	(25)	5,577	(23)	151	(12)
西部計	32,371	-	31,894	-	▲ 477	-
浜松市	40,719	(1)	37,177	(3)	▲ 3,542	(30)
中区	44,667	-	59,640	-	14,973	-
東区	33,192	-	32,125	-	▲ 1,067	-
西区	28,171	-	18,520	-	▲ 9,651	-
南区	26,710	-	24,592	-	▲ 2,118	-
北区	18,987	-	22,011	-	3,024	-
浜北区	24,913	-	17,614	-	▲ 7,299	-
天竜区	5,818	-	4,414	-	▲ 1,404	-
湖西市	6,491	(23)	9,556	(19)	3,065	(5)

*1 従業・通学地が県外及び従業地・通学地「不詳」を除く。

この資料は、総務省統計局が「平成27年国勢調査 従業地・通学地による人口・就業状態等集計結果」として公表したもののうち、静岡県の主な結果の概要をまとめたものです。

なお、「分類不詳」の項目や四捨五入のため合計と各項目の計とは一致しない場合があります。



◆ 問い合わせ先 ◆

静岡県経営管理部情報統計局統計調査課

TEL 054-221-2995

◆ 国勢調査の結果は、インターネットでもご覧になれます ◆

* 統計センターしずおか <http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

国勢調査

検索

* 総務省統計局 <http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/index.htm>